2022 年度実施概要

学校名

大牟田市みなと小学校

採択活動名

有明海や三池港を生かした大牟田海洋教育プロジェクト

実施単元　※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 有明海の生き物を調べよう	第３学年	海の時間
2. 有明海の環境を調べよう	第４学年	海の時間
3. 有明海と人の生活とのつながりを調べよう	第５学年	海の時間
4. 有明海とともに生きるために	第６学年	海の時間

取り組みの概要

　第３・４・５・６学年の総合的な学習の時間を中心に、本校の校区にある世界文化遺産「三池港」や「有明海」についての学習をよりよく展開し、有明海の豊かな自然や文化への学びを深めた。また、地球温暖化に伴う海水温の上昇による豪雨被害の経験を元に防災・減災について学習を深めた。
　「海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する」学習を通し、海との共生を図るための資質・能力を育むことをねらいとして取り組んだ。

＜第３学年＞

　有明海の干潟に実際に行き、干潟にすむ珍しい生き物を観察し、漁師さんから話を聞いたことで、干潟の楽しさや環境を守ることの大切さを実感することができた。水中の生き物にはそれぞれに適した環境があることを理解し、オンラインによる合同学習で他校の児童に有明海に住み生き物を紹介することができた。今後は、この干潟のすばらしさを伝えていきながら、環境の問題にまで視野を広げていくことができるようにしたい。

＜第４学年＞

　身近にある「三池港」や「有明海」を教材として学習を進めていった。海が浮遊ゴミのたまり場となっていることを理解し、ゴミ拾いを通して、その景観や環境をこれからも守っていかなければならないという意識の高まりが見られた。環境保護について地域に呼びかける姿が見られた。地球規模の環境問題についてどこまで児童に学ばせるか、見通しをもった授業を展開することが課題である。

＜第５学年＞

　海は人間生活に密接に関わっていることを理解させるため、令和２年７月豪雨の被災の経験を踏まえ、津波や海洋の温暖化に起因する問題に着目し、命を守る減災教育に取り組んだ。危険箇所を調べたり、防災バッグの中身を考えたりすることで、自助、共助の意識が高まった。海を守り海とともに生きるために、自分に科された責任と行動について考えることができるようにしたい。

＜第６学年＞

　５年生で学習した地球温暖化に伴う海水温の上昇で起こる豪雨災害に備えるために、各避難所の備蓄状況を調べたり、避難所を開設する体験したりした。また、豪雨災害に備えるための簡単な動画を作成し、「海洋教育こどもサミット in 大牟田」を通して、自分たちの学びを広く発信することができた。